

実質化された人・農地プラン

〔注：本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。〕

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
福崎町	高岡地区(長野集落)	令和4年2月17日	令和2年3月16日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	23ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者面積の合計	21ha
③地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	18ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	13ha

2 対象地区の課題

- ①矢口周辺のほ場整備完了地の約5haが中山間農地のため、急斜面畦畔の草刈りは作業員15名程度で共同で実施しているが、作業場所や高齢化の問題等から数年先の維持管理が懸念される。
- ②農地、農作物への獣害等被害防止のため防護柵を計画設置しているが、農地への取り囲みが十分でない。
- ③地域活動を通じて、農業離れしている中年層への集落営農への参加等後継者育成が課題である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

長野集落において、令和5年度に高岡・福田ほ場整備事業が完了予定。既に令和4年度に農地バンクより営農組合への仮受農地約13haが見込まれている。農地維持は広範囲(三方面)にわたることから営農経営や大型機械による安全かつ効率作業が求められる。

矢口方面(内山・箕谷地域)で、既にほ場整備が完了しているが、獣害対策が未実施で休耕田となっている農地が約3haある。今後、農地の有効利用を進めることから獣害防止柵を計画的に設置し水稲、麦作の栽培に取り組む。

村中の未整備田は約2ha。不整形、狭小農地等で大型機械の搬入や用水の確保が困難である。今後、状況を見据え麦作を中心に栽培計画を進める。